

2020年8月31日発表

報道関係者各位

WIDE プロジェクト  
株式会社日本レジストリサービス (JPRS)  
APNIC

### M-Root の拠点展開に向けた新たな協力関係の構築に合意

WIDE プロジェクト、株式会社日本レジストリサービス (JPRS) 及び APNIC は、アジア太平洋地域内外の M-Root DNS サービスの拡充に協力して取り組んで行くことを合意し、覚書を締結しました。

WIDE プロジェクトは、アジアを拠点とする唯一のルートサーバ運用組織 (RSO) であり、世界に 12 ある RSO の一員として、M-Root を 1997 年から運用しています。現在、M-Root は、日本、韓国、フランス、米国に設置される九つの拠点で運用を行っています。

JPRS は、WIDE プロジェクトと共に、2005 年から M-Root の運用及び拠点展開を実施しています。JPRS は、RSO の役割を担うことにより、ルート DNS と JP DNS 双方の優れた利用者環境をインターネットコミュニティに提供しています。

APNIC は、2000 年からアジア太平洋地域におけるルートサーバの拠点展開を支援してきました。これまでに、F-Root、I-Root、K-Root を含む 5 系列のルートサーバにおける 32 拠点の展開を支援しており、今回の合意により、今後 M-Root の拠点展開についても支援することになります。また、APNIC は、自らの会員に対し、DNSSEC (Domain Name System Security Extensions) をサポートする逆引き DNS の重要な基盤も運用しています。

WIDE プロジェクト、JPRS、APNIC の協力により、アジア太平洋地域における M-Root のサービス拠点が大きく増加し、当該地域の ISP や利用者にとって DNS の到達性、障害回復力、応答時間が改善します。DNS の問い合わせは最寄りの拠点で処理されますので、ルートサーバの増加によって利用者の場所によらず、DNS パフォーマンスが向上します。

本覚書に基づいて新たに設置される M-Root のサービス拠点は、サービスが十分でない地域、並びにインターネット接続の主要拠点、多様な IP トランジットを提供する拠点やキャリア中立な IXP (インターネット相互接続点) などを優先的に候補とする予定です。

新たに設置される最初の拠点は、オーストラリアのブリスベンにある APNIC の設備とし、2020 年末までにサービスを開始する予定です。

---

■ WIDE プロジェクト

URL: <http://www.wide.ad.jp/>

WIDE (Widely Integrated Distributed Environment) は、インターネット関連技術の実践的な研究開発を行う研究コンソーシアムで 1988 年に活動を開始し、数多くの組織と幅広い分野で共同研究を行い、インターネットの発展に寄与しています。

■ 株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

URL: <https://jprs.co.jp/>

株式会社日本レジストリサービス (JPRS) は、2000 年 12 月 26 日に設立され、JP ドメイン名の登録・管理サービスを提供しており、現在約 160 万件の JP ドメイン名を管理しています。JPRS はネットワークの基盤を支える企業として、インターネットの発展に寄与し、人と社会の豊かな未来を築くことに貢献することを企業理念として活動しています。

■ APNIC

URL: <https://www.apnic.net>

APNIC (Asia Pacific Network Information Centre) は、会員ベースのオープンな非営利組織です。その主な役割は、アジア太平洋地域の 56 の国・地域にインターネット番号資源を配布し、管理することです。番号資源は、インターネットを運用可能とし成長させる基礎的な要素です。APNIC は、地域における基本技術スキルの獲得を支援し、インターネットインフラの開発を支援し、洞察に満ちた研究を行い、インターネットでの協調とガバナンスにおけるマルチステークホルダーモデルに積極的に参加しています。APNIC はグローバルでオープンな安定かつ安全なインターネットに対する貢献の一部としてこれら活動を行っています。

-----  
■お問い合わせ先

WIDE プロジェクト

press@wide.ad.jp

株式会社日本レジストリサービス (JPRS)

press@jprs.co.jp

APNIC

pr@apnic.net  
-----